

業界初の  
適正処理

# アスファルト版切断汚泥 コンクリート版切断汚泥 限定中間処理施設

2012年3月、環境省・国交省が  
舗装版切断汚泥の適正処理を指導。

「適正な中間処理を行える施設がない」  
との一部の行政職員の強い要望を受け  
「定置」「移動」の中間処理施設として  
業界初の認可を「さいたま市」で  
取得しました。



技術  
Technology

環境  
Ecology

機動力  
Flexibility



アスファルト版切断汚泥は、発ガン性化学物質を含み、再生スラグ等の骨材から重金属等の溶出もみられることから、その有害性が広く認識されています。

そして、コンクリート版切断汚泥の水素イオン濃度 (pH) は12以上。汚泥中には水溶性重金属の六価クロム等が含まれている事も認識されており、本来であれば特定廃棄物として処分しなければならないものです。

これらの汚泥の処理について環境省から発せられた各指導通知を遵守した適正な処理の実施を求める動きが日々強まっています。

## アスファルト版・コンクリート版切断汚泥限定 中間処理施設の特徴

技術  
Technology

環境省・国交省が認めた  
汚染水・汚泥処理技術

### ●内閣府主催の除染技術実証実験で 水処理部門で唯一の「高」評価

舗装版切断汚泥の処理には、内閣府主催の除染実証実験で放射性物質除去率99.8%と他に類のない結果を出し、水処理部門で唯一「高」評価を獲得した技術が用いられています。

環境省除染技術データベース  
DTOX 登録番号 T-00003

### ●国交省新技術登録システム NETIS 東京都新技術データベース認証済み

国交省 NETIS 登録番号 T-120085-A  
東京都新技術登録番号 I301003  
埼玉県新技術登録番号 H21-2026  
他、千葉県・横浜市新技術登録済み

環境  
Ecology

汚泥中の環境ホルモンを  
逃さず回収・リサイクル

### ●処理水は排水基準をクリア

舗装版切断汚泥に無機系凝集剤を添加して凝集沈澱反応させることで、汚泥中の浮遊物質・環境ホルモンを凝集剤の中に取り込んだ固形物として捕捉します。汚泥中の固形物から分離された水は、排水基準を満たすレベルまで浄化された後、安全な清水として再利用されます。

### ●固形残渣物は安全にリサイクル

舗装版切断汚泥から回収された固形残渣物は、セメント工場等で焼成して無害化された後、再生材として利用されます。

機動力  
Flexibility

移動式プラントで広域の  
汚泥処理をカバー

定置式中間処理施設から距離が離れた現場には、2t車に積載可能な移動式中間処理プラント・オペレータ・汚泥回収機材等を派遣し、舗装切断工事の現場で汚泥を処理します。



移動式汚泥処理プラント